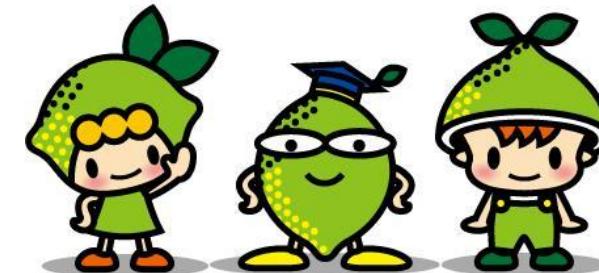


大学図書館の学修支援

島根大学附属図書館 情報サービスグループ

赤木 智香



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

本日の内容

1. 大学教育改革と大学図書館
2. オープン・サイエンス時代の学修支援
3. 学修支援の事例紹介

はじめに

学生は何を求めて図書館に来てる？

資料



環境



大学図書館職員の大事なお仕事

必要な資料・情報を
利用者が自分で探せるように
サポートすること

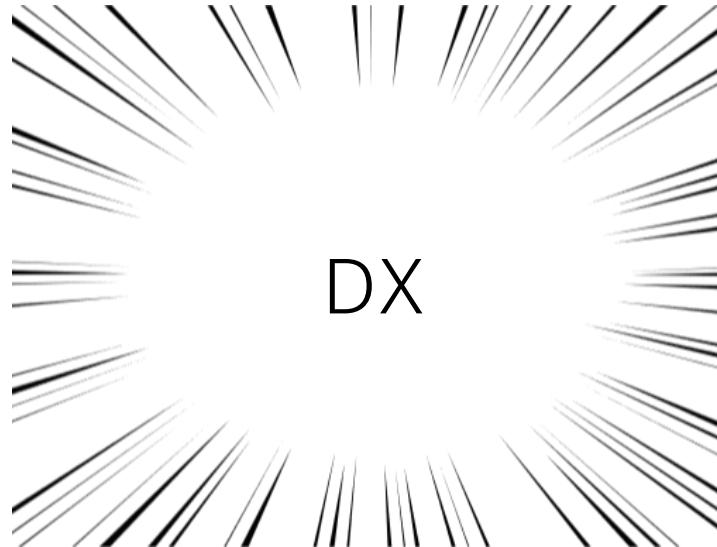
ex.講習会、カウンターでの利用者対応…

1.大学教育改革と大学図書館

これからの時代は予測不可能な時代？



グローバル化



DX



国際情勢



少子高齢化



自然災害

etc…
7

そんな時代を生きるために必要な能力とは

「主体性」「リーダーシップ」「想像力」「課題設定・解決能力」「論理的思考力」「表現力」「集中力・粘り強さ」「コミュニケーション能力」等の資質・能力

『我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）』
2025年2月21日 中央教育審議会

★こうした人材を育成するために、大学教育では

「何を教えたか」

→ 「何を学び、身に付けることができたのか」

学修者本位の教育へ転換

学習

学びならうこと。学校などで勉強すること。

学修

勉強して学問を身につけること。修学。

『日本国語大辞典』, ジャパンナレッジ, <http://japanknowledge.com/library/> (参照2025-9-2)

「学修者本位の教育」のために

アクティブ・ラーニング

情報リテラシー

情報リテラシーとは

「高等教育の学びの場において必要と考えられる情報活用能力」、すなわち「課題を認識し、その解決のために必要な情報を探索し、入手し、得られた情報を分析・評価、整理・管理し、批判的に検討し、自らの知識を再構造化し、発信する能力」

『高等教育のための情報リテラシー基準2015年版』
2015年3月 国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会

利用者教育と情報リテラシー教育

利用者教育

- ・図書館利用者に対して図書館の効果的・効率的な使い方を伝える
- ・図書館の内部的な事情
- ・「逐次的」「個別的」「単発的」に実施してきた

情報リテラシー教育

- ・利用者に対して情報リテラシーの習得・向上を支援する
- ・図書館の属するコミュニティ（大学）、つまり外部からの要請
- ・「計画的」「体系的」「組織的」に実施することが求められる

『JLA図書館実践シリーズ14 情報リテラシー教育の実践 すべての図書館で利用教育を』
日本図書館協会図書館利用教育委員会編 2010年 日本図書館協会

オープンサイエンス時代において…

また教育面では、学修者本位の教育の実現が求められており、大学図書館には、利用者の環境などを踏まえた最適な形態での教育・学習リソースの提供を可能にすることが求められる。教育・研究のDXが、学内の様々な部署の連携を必要とする変革であることから、大学図書館においても、各大学の教育・研究推進体制全体の中での位置付けや役割を意識しながら、その機能について検討していく必要がある。

『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』
2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会

2. オープンサイエンス時代の学修支援

デジタル・ライブラリー

1990年代に盛んに議論された「電子図書館」構想を更に進めたものであり、コンテンツのデジタル化を経た結果として意識される、運営やサービス、職員の知識やスキルの変革などを内包する形で自身のDXを推進する大学図書館のことを指す。

『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』
2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会

デジタル・ライブラリーの実現のために

「デジタル・ライブラリー」の実現には、大学図書館機能を物理的な「場」に制約されない形で再定義することが求められる。そのためには、「ライブラリー・スキーム」を明確にした上で、利用者が何を求めているかを整理・再検討し、それを反映してデザインされた最適な環境を構築する必要がある。

『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』
2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会

ライブラリー・スキーマ

図書館のサービスをデザインする上で必要となる基本的な論理構造のこと。①物理的空間のデザインなどのハード面、②様々なコンテンツの提供や図書館員によるサービスなどのソフト面、③その両者の関係性、を定義するものであり、これを具体化したものが、実際に存在する図書館とそこで提供されるサービスとなる。

図書館ごとに唯一のライブラリー・スキーマが定められるが、利用者の属性（分野や立場等）によって、見え方が異なる点に留意が必要である。

『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』
2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会

大学教育のDX化にともなって

- ・デジタルコンテンツに関わる利用支援
- ・DX時代の情報リテラシー教育（著作権教育など…）
- ・大学全体の教育・研究推進体制の中での位置付け・役割を意識
- ・他部署や他大学との協働

一方で

これまで大学図書館が整備してきた学修環境（ラーニングコモンズなど）についても見直しや再構築が必要

物理的な「場」も大事！

物理的な場としての大学図書館は、物理的な空間と仮想的な空間が融合する場、あるいは仮想的な空間に対する高度なインターフェースといった付加価値を持つ場として発展するものであり、それによって、時空を越えて人とコンテンツあるいは人と人をつなげることを可能にする。

『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』
2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会

3.学修支援の事例紹介

島根大学附属図書館では

本館

- ・オンデマンド講習会
- ・学習支援ポータル

https://www.lib.shimane-u.ac.jp/support_portal/index_st.html

- ・図書館コンシェルジュ学生による館内探索企画（2024・2025年度実施）

【関連記事】

図書館コンシェルジュ企画「図書館謎解きラリー」を開催（6/11～7/31）

<https://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/2024060400011/>

図書館コンシェルジュ企画「図書館クエスト」を開催中（～5/31）

<https://www.lib.shimane-u.ac.jp/new/2025040800029/>

図書館コンシェルジュの学生が企画した新入生向けのオリエンテーション企画「図書館クエスト」を図書館の職員Aがプレイしてみた話。

<https://shimadai-lib.hatenablog.jp/entry/2025/05/27/150255>



島根大学附属図書館では

医学図書館

- ・オンデマンド講習会
- ・医学部授業内での文献検索講習会
- ・Moodle上での文献検索講習会動画公開
- ・閲覧室内のコンセント整備（2024年度）



図書館の場・専門知識を活かした学修・研究支援

岡山大学附属図書館

知好楽セミナー

<https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/chikoraku.html>



北海道大学附属図書館

システムティックレビュー作成支援事業

<https://www.lib.hokudai.ac.jp/med/search/>

知好楽セミナーの様子

<https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/chikoraku.html> (参照2025-9-2)

学生や教員と協働したサポートデスクの設置

広島大学図書館

ライティングセンター

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc>

九州大学附属図書館

図書館TA (Cuter) と協働した
学習支援

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/cuter>



広島大学ライティングセンターホームページ
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc> (参照2025-9-2)

Web上での学修環境整備

千葉大学アカデミック・リンク・センター／附属図書館

オンライン学習支援ポータル
「Encourage YOUR e-Learning!
(EYeL!)」

<https://alc.chiba-u.jp/eyr/online.html>

青山学院大学図書館

「Fujitsu AI探索サービス」の導入

https://www.aoyama.ac.jp/post05/2025/news_20250701_01



EYeL! トップページ
<https://alc.chiba-u.jp/eyr/online.html> (参照2025-8-29)

図書館による新たな学修の「場」の提供

宮崎大学附属図書館

創発WG（学生活動・創発・支援）による活動

<https://www.janul.jp/ja/projects/ga/interview/miyazaki>

兵庫教育大学附属図書館

BLUE CLASS

<https://www.blueclass.live/>



宮崎大学附属図書館「プロジェクトマッピング短歌会」の様子（2022.3.29）

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/newsrelease/student-info/post-807.html> (参照2025-9-2)

終わりに

- 図書館ができる、学生に必要な支援は何か？
- 大学の一員としての大学図書館の役割は何か？
- 学生が主体的な学習をするために図書館職員としてできることは？
- 今の支援の形は時代のニーズに追いついているか？
- 教員や学生、他部署他機関（**他大学の図書館も！**）と協働してできることは？

予測不可能な時代は続く…

大学図書館もUpdateしていきましょう。

【引用・参考】

- ・『JLA図書館実践シリーズ14 情報リテラシー教育の実践 すべての図書館で利用教育を』 日本図書館協会図書館利用教育委員会編 2010年 日本図書館協会
- ・『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）』 2012年8月28日 中央教育審議会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm
- ・『高等教育のための情報リテラシー基準 2015年度版』 2015年3月 国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会 https://www.janul.jp/sites/default/files/sftl_201503b.pdf
- ・『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）』 2018年11月26日 中央教育審議会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm
- ・『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）』 2023年1月25日 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/004/mext_00001.html
- ・『オープンサイエンスの時代にふさわしい「デジタル・ライブラリー」の実現に向けて～2030年に向けた大学図書館のロードマップ～』 2024年7月1日 「2030デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/071/mext_00002.html
- ・『我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）』 2025年2月21日 中央教育審議会 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1420275_00014.htm
- ・ インタビュー・シリーズ 新たな知のケミストリー：LIBRARY 2025 <https://www.janul.jp/ja/projects/ga/interview> (参照2025-9-2)
- ・ カレントアウェアネス・ポータル <https://current.ndl.go.jp/> (参照2025-9-2)